

第20号

地域・家庭・学校をつなげる新聞!

熊谷ひみつ新聞

Kumagaya Secret Newspaper

発行

公益社団法人 熊谷青年会議所 12,800部発行
熊谷市宮町2-39
熊谷市立商工会館内
電話 048-524-0440
FAX 048-524-0519
http://www.kumagaya-jc.or.jp/



テーマ

つなげよう くまがやの輪VOL.2

| |
|------------------------------|
| 梯子で大技! 100年以上続くアクロバット? 1ページ |
| フリーアナウンサー 山本あやめさんに密着取材! 2ページ |
| YOUは何しに熊谷へ!? 3ページ |
| 探してみよう! 日本で最大級の特別車 4ページ |

梯子で大技!

100年以上続く

アクロバット?



「出初め式」ってなんだ?

みんなは毎年1月6日に行われる「出初め式」を知っているかな? 昔は火事が起こると「火消し」という人たちが活躍したんだ。その人たちが一年の初めに無事故を祈って行ったのが「出初め式」で、熊谷ではなんと! 100年以上の歴史があるんだよ!

梯子の上でアクロバット!?

出初め式では梯子乗りといって、6.5mもある竹製の梯子の上で技を披露するんだよ。これはみんなの学校の3階と同じくらいの高さなんだ。江戸時代には梯子に乗って、火事がどこで起きていたかを探したり、この梯子を立てるときは「トビグチ」と呼ばれる特殊な棒で支えるんだ! 梯子の上はゆっくりと揺れているんだけど、その揺れを使ってもまくバランスをとっているんだって!

20キロを振れて一人前!

出初め式では梯子乗りの他に、「纏振り」と呼ばれる行事があるんだ。「纏振り」とは消防車がまだなかった昔、水で火を消すのではなく、燃えている家の周りの建物を壊して火が広がるのを防いでいたんだ。その時に「ここで火の広がりやを止めるぞ!」という目印で纏を振ったんだ。纏は、なんと20キロもあって、この重たい纏を回転させながら左右に振れて一人前なんだって!

熊谷の自慢

「梯子乗り」や「纏振り」といった文化が、今でも残っているのは珍しい事なんだ。熊谷には「うちわ祭」という長く続くお祭りがあるように、こうした



梯子を抑えている棒が「トビグチ」だよ!

伝統文化が親から子供、地域の年長者から若者へと代々受け継がれているんだ。熊谷は歴史のあるまちだからこそ地域のつながりが大切にされて出初め式も残っているんだね。(記者: 稲田誠高・中島寛)



高城神社での纏ぶりの様子! 写真提供: 熊谷鳥組合

調べてみよう!

梯子乗りの最高難度の大技は?

TOP 3

- 第1位 〇〇
- 第2位 八双
- 第3位 腕だめ

答えは熊谷青年会議所のホームページにアクセス!

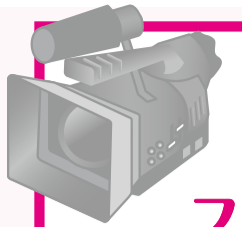
理事長のつぶやき

こんにちは! いつも熊谷ひみつ新聞を読んでくれてどうもありがとうございます。今年の夏休みはどんな過ごし方だったかな? いままでと違って色んなイベントが中止になったり、遠くに遊びに行けなかったり、少し寂しい思いをしているかもしれないね。でもこんな時だからこそ、みんなが住んでいる熊谷にもっと関心をもってほしいんだ。この新聞で紹介しているとおり、みんなのすぐ近くでも、豊かな自然や歴史、伝統、文化、スポーツなど、自慢したくなるようなことがたくさんあるよ。

みんなには無限の可能性があります。これからも色々なことに関心をもって、明るく前向きに、失敗を恐れずどんどん挑戦してみよう。みんなが大人になった時の「みらいのくまがや」が、誰もがフクフクするようなまちになるように、一緒に頑張りましょう! ロナに負けるな! スクマムクマガヤ!



公益社団法人 熊谷青年会議所
理事長 宮下 良友



フリーアナウンサー 山本あやめさんに密着取材!

みんなはアナウンサーという仕事を知っているかな?

有名な人にインタビューをしたり、今日起きたニュースをみんなに伝える仕事だね。

今回は熊谷を中心としたイベントの司会や

J:COMの番組から、熊谷の人やお店の魅力をたくさん伝え続けてくれている、フリーアナウンサーの山本あやめさんを紹介するよ!

三年生になって変身!

あやめさんは元々すぐくおとなしい子だったんだって。それが小学三年生になった時の夏休みの自由研究で、籠原駅の商店街を自分の目で確かめながら歩いて調べて地図を作ったんだって。そうして



熊谷市原島のスタジオで収録中の山本あやめアナウンサー
こうやってテレビを撮っているんだね!

熊谷のために...

熊谷の良さをみんな

らその努力を担任の先生がとっても褒めてくれたんだって!それがすごく嬉しくて大きな自信になったそうだよ!

に知ってもらいたいと思っていた時に、当時のテレビ熊谷の方から誘いがあってアナウンサーに挑戦!今では番組、市の広報番組など幅広く活躍されているよ。

番組でとりあげる物は自分で見たり体験するんだって!それは

観てくれている人たちに、自分が感じた本当の魅力や伝えたいからなんだって。「百聞は一見にしかず」だね!

**最後に山本さんから
みんなへメッセージ**

この街が大好きで、熱く頑張る人を一人でも多くみなさんに紹介していきたいと思えますし、続ける努力をしています。

みなさんも叶えたい強い思いが生まれたら、それを声に出したりノートに記したりすると叶えるための気持ちが入り集中できます。何でも挑戦してみてくださいと新しい発見や出会いが必ずあつて自分のタメになりますよ!

(記者:石井孝佳、石川奈津美)

調べてみよう!

今年度からジェイコムで始まったあやめさんの新番組!
そのタイトルとは?
答えは熊谷青年会議所のホームページにアクセス!

出演者大募集! ~山本あやめさんのインタビューでみんなの自慢をテレビで発表しよう!~ 熊谷つながり隊

みんなの自慢をテレビで発表してみよう!

ひとりで出演や、友達と、クラスみんなと出演など、5人までなら一緒に応募してもオッケーだよ!

応募概要

応募は右側のQRコードから熊谷つながり隊とLINE公式アカウントで友だちになるよ! 熊谷青年会議所HPからも応募できるよ。

- 放送日: 2020年10月30日(金) 予定
- 内容: 僕たち・私たちの何でも自慢
- 募集人数: 限定3組(1組5名まで)
- 出演番組: 埼玉つながるNews ~熊谷・深谷~ 毎週金曜日18時更新
- 出演方法: WEBカメラによる出演
- 収録日: 相談のうえ決定
- 参加費: 無料

出演応募QRコード



番組を見るには!

J:COM熊谷・深谷(J:COMチャンネル/地デジ11ch)は、スマホやタブレットでもアプリをダウンロードすれば番組を視聴することができます!



●Android: [Google Playストア]
●iPhone: [App Store]

【「どろーかる」アプリについて】
※ご利用には、通信環境(Wi-Fi・LTEなど)、指定アプリのインストールが必要です。
ご利用にかかる通信環境・通信費などは、お客さまのご負担となります。

主催: 公益社団法人熊谷青年会議所
みらいのひとづくり実践委員会
連絡先: 048-524-0440(事務局)
協力: (株)ジェイコム 埼玉・東日本熊谷・深谷局

YOOOは何しに熊谷へ!?



通報先

熊谷市
環境政策課
048-536-1547

外来生物と熊谷の自然



ウシガエル、アライグマ。みんなはこの生物たちを熊谷で見たことあるかな？

実はこの生物たちは元々日本にいなかった事は知っているかな？

元々日本にいなかったのに、人々の活動によって他の国から入ってきた生物の事を外来生物と言う



右が普通のカミキリムシで、左のように首の部分が赤いことが一番の特徴!!



このような茶色い食べかすがあると要注意!! その木にクビアカツヤカミキリが住み着いているサイン!

熊谷のさくらが大ピンチ!

この外来生物は、熊谷で平和に暮らしているものもあれば、ムサシトミヨの卵を食べてしまうアメリカザリガニのように熊谷の自然を脅かすものもいるんだ!

今もつとも恐れられているのが「クビアカツヤカミキリ」なんだ!

この虫は、サクラの木

やウメ、モモの木が大好きなんだ。一度木の中に侵入すると、中から木を

食い荒らしてしまい、放っておくとその木は

生きられなくなってしまうんだよ。もしみんなの学校や土手のサクラ

がなくなってしまうとどうかな? 19号ひみつ新聞で紹介した、クマガイザクラの復活を願って頑張っている人たちに



赤が2019年、オレンジが2018年に発見された場所だよ。

写真提供: 埼玉県環境科学国際センター



とつても、サクラが枯れてしまつては悲しいよね。

みんなで自然パトロール!

でも大丈夫! もし食い荒らされても早く発見してあげればそのサクラの木を守ってあげることができるんだ。

早く発見するためにも、通学の時、公園などに遊びに行ったときに異常がないかみんなでもパトロールをしよう!

もしクビアカツヤカミキリのようなものを発見したら身近な大人の人に知らせよう!

みんなの力一つ一つの行動が集まれば熊谷の自然を守る大きな力になるよ!

力を合わせて熊谷の桜、熊谷の自然を守っていきましょう!

調べてみよう!

もし外来生物を発見した場合、やめてはいけないこととは何だろうか?

答えは熊谷青年会議所のホームページにアクセス!

学区のひみつ

大里地区

みんなは、社会の授業で源義経って言う人物についてもう勉強したかな? 今回は歴史的に有名な源義経と大里地区のつながりのひみつを探っていくよ。

大里地区にはほとんど橋と呼ばれている橋があつて、その近くに亀井の井戸と呼ばれている井戸があるんだよ。



源義経が鎌倉時代に大里地区に着き、喉が渴いていたので水を探したけど、どこにも見当たらなかったんだ。大里地区に住んでいた亀井六郎清重という武士が持つていた槍で地面を突いたところ水が湧いて出たんだって。源義経

がこの水を飲んだら体が癒されただけではなく、急に勇気がわいてきて、さらにこの水でお風呂を沸かし、入浴してみると生まれ変わったように疲れが吹っ飛んだんだって。この噂が近隣に広がり、医療にも利用されていたんだって。井戸の桁には亀井とはつきり刻まれ、熊谷市指定記念物として今でも大切に保管されているんだよ。



大里地区には生命力を癒す歴史的な事象がまだまだ隠されているよ! 他にもたくさんのお話しや伝説があるから、みんなも調べてみてね。



探してみよう! 日本で最大級の特別車

みななはこの車の事を知っているかな?

えっ? 消防車?

ブー!

ちがいます。



実はこの車、支援車という特別な車なんだ!

支援車って何? どんな事をしているの?

この支援車は【支援I型】といって、日本では最大級の大きさで総務省から各都道府県に1台ずつ配備されているんだ。
大きな災害が起きると災害現場に消防隊員たちが駆けつけて、救助をするんだ。そんなと

きに出動するのがこの支援車なんだよ。

支援車はたくさんの人を乗せて運んだり、一生懸命活動をして疲れた隊員たちが休憩したり、食事をしたり出来る特別な車なんだ。

車内は居住スペースと荷室スペースの2部屋に分かれているんだ。びつくりなことに居住スペースは壁が横に飛び出てるよ。災害活動で疲れた隊員たちを支えているんだね。

昔は野宿していた隊員たちも、この支援車があるおかげで、長期間の活動が出来るようになった。救われた人もたくさんいるんだ。

消防隊の人は言っていたよ。「支援」とは、他人を支え、助けることを言うんだ。人の気持ちを理解して助けてあげられる人ってカッコいい

よね。みんなも周りの人を支援できるような立派な人になつてね!



埼玉県の北部地域で たった1台の幻の車!

埼玉県内に支援車は何台かあるけど、この最大級の支援車は埼玉県の北部地域では熊谷市にだけしかなくて、「熊谷支援I号車」と呼ばれているんだよ。
大きな災害や訓練がない限り出動しないから見かけることはほとんど



居住スペースにはシャワー、キッチン、トイレのほか、発電機もあるから電子レンジ、エアコン、冷蔵庫など電化製品も使えるんだよ。もうここに住めちゃいそうだね!



荷室には寝袋、椅子、机、テント等、20人くらいの方が外で寝泊まりできるような荷物がいっぱい積んであるんだ。全部出してみたらこんなにたくさん積んであったよ。

んどないかもしれないね。しかも、年間での出動回数は1回あるかなかなかんだ。

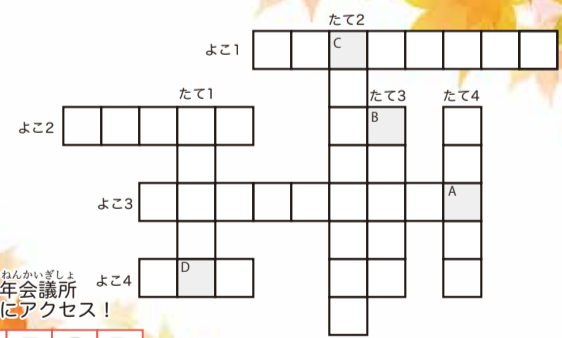
でもね、実はこの支援車は月に1回、走行訓練で熊谷市内を走ってるみたいなんだ。発見出来たらすぐラッキーだね! それと、熊谷市で開催する消防訓練でも、もしかしたらそのときに出勤して行くかもしれないよ。熊谷市のホームページをチェックしてみよう。
(記者:江森康文・黒田泰治)

調べてみよう!

消防署の車はなんで赤いのが調べてみよう!

答えは熊谷青年会議所のホームページにアクセス!

A~Dのマス内の文字を入れるとどんな文章になるかな?



答え A B C D

- よこ1 たて1の車は○○○○○○で疲れた隊員たちを支えているんだね。
- よこ2 毎年1月6日に一年の無事故を祈って行われている行事は○○○○○。
- よこ3 クビアカツヤカミキリなどを見つけたら○○○○○○○○課へ通報しよう!
- よこ4 熊谷のことをみんなに伝えてくれているのはフリーアナウンサーの山本○○○さん!

- たて1 日本で最大級の○○○○○が熊谷市にもあるんだよね。
- たて2 アライグマなどの他の地域から入ってきた生物のことを○○○○○○○というんだよ!
- たて3 1つ20キログラムもあるコレを振れば1人前なんだよ!
- たて4 ○○○○は一目にみれば、自分で感じた魅力を伝えたいんだね。

クロスワード

編集後記

保護者の皆様こんにちは。第20号熊谷ひみつ新聞をお読み頂き、ありがとうございます。新型コロナウイルスの影響により、修学旅行や林間学校、運動会や社会科見学等、子どもたちが楽しみにしていた学校行事も中止や延期となってしまい、子どもたちが社会性や自主性を学べる機会が失われてしまっています。私たち熊谷青年会議所メンバーも地域の大人の一人として、この熊谷ひみつ新聞を通して未来の担い手となる子どもたちに今以上に地域への誇りを感じて頂き、愛着を深めて頂きたいと考えております。

今年の第19号、第20号熊谷ひみつ新聞では「つなげよう くまがやの輪」をテーマに、子どもたちと熊谷が誇る地域資産、地域の大人が強くつながることの出来る記事を作成させて頂きました。

熊谷ひみつ新聞も記念号の20号まで発行するに至りました。このことは、私たち熊谷青年会議所メンバーの力だけでは無く、地域が一体となって歩んでくれた結果だと考えております。今後も未来の担い手となる子どもたちに、熊谷への誇りや愛着を深めて頂けるよう一生懸命発行してまいりますので、今後ともご愛読頂けますようお願い致します。

編集長 小島一浩

後援 熊谷市 熊谷市教育委員会 熊谷商工会議所

印刷 株式会社ピーアイビー 熊谷市筑波1-157-2 電話 048-524-1463

〒360-0041 熊谷市宮町2-39 熊谷市立商工会館内 公益社団法人 熊谷青年会議所

HP: <http://www.kumagaya-jc.or.jp/> メール: info@kumagaya-jc.or.jp

熊谷青年会議所 検索